

# Desert Wind

## ● 神のなさることの美しさ ●

(伝道の書 3:1 - 12)

昔から多くの思想家たちが人類の歴史の意味を探し求めてきましたが、多くの学識者たちが神の存在を抜きにしては世界の歴史は語れないと考えています。英語で歴史のことを History と言いますが、History という言葉は、「His」と「story」という二つの言葉が合わさってできたと言われます。「His」という言葉は、文章の途中で H を大文字にして書く英語では「神」を表します。また「story」は「物語」ですから、History は「神の物語」、あるいは「神がつづられる物語」という意味で、この概念は、「神が歴史の背後にあられる」という聖書の教えからきています。

伝道の書 3:1 に、「天の下では、何事にも定まった時期があり、すべての営みには時がある」とあります。つまり、この言葉が伝えているメッセージは、神が創られた世界でのすべての出来事には神が定められた時があり、人間のすべての営みはその定められた「神の時」の中で導かれているのだということです。

聖書に記されている、この世の始まりから、この世の終わりに至る人類の歴史の物語は、実に雄大なドラマです。そのドラマは、言ってみれば、地球という大きな舞台上で演じられているものですが、それは定められたフィナーレに向かって進んでいます。そして、そのドラマを神の摂理的な歴史支配という観点から見ると、はじめて私たちが、地上のすべての出来事には神によって定められた時があること、またその出来事の背後には一貫した神の計画があることを見ることができると言えます。

神が歴史を支配しておられるという事実は、色いかな観点からの説明が可能ですが、その一つは聖書預言の成就を通して、つまり聖書の預言が預言通りに的中したということから説明することができます。聖書の中には非常に多くの預言がありますが、その預言的中率は100%で、その成就の仕方も驚くべきものです。

たとえば、近年における預言の成就のひとつの例は、イスラエル国家の回復に関する預言です。イスラエル民族は、西暦70年にエルサレムがローマ軍によって破壊されて以来、約1900年もの間、世界各地に離散し、流浪の民として生きていました。しかし20世紀になって、彼らは次第に祖国に帰り始めるようになり、ついに1948年、イスラエル共和国の独立を宣言しました。この出来事は、全世界を驚かせるものでした。1900年ものあいだ国を失い、流浪の民であった民族が、どこに行っても民族としての純粋性を失わずに再び国家を再建するという事は、他のどんな民族にも絶対に見られない奇跡的なことです。

もし日本人がアメリカに移住した場合、三世、四世にもなれば、日本語も話せなくなり、日本人としてのアイデンティティも失い、アメリカ社会に同化し、日本に住みたいという思いすらなくなってしまうでしょう。そうなるのに100年もかからないかも知れません。ですから、1900年間も、世界各地に離散していたイスラエル民族が、どの国に行っても、神の民としてのアイデンティティを失わず、ひとつの思いを抱き続けながら、やがて自分たちの国を再建するという事は現実にはあり得ない筈のことでした。

しかし、1900年前に彼らが離散したことも、現代になって国家を再建したことも、実は、聖書の中にあらかじめ預言されていたことでした。このイスラエルの回復の預言は、今から2600年前に預言者エゼキエルが神の靈感を受けて預言しています。そして、その預言のとおり、イスラエル民族はパレスチナに帰ってきました。今の時代に生きる私たちは、この預言の成就の目撃者であり、神の民イスラエルの歴史がこうして神の計画どおりに展開していく現実をこの目で確認し、人類の歴史が神の支配の中にあることを確信せざるを得ないので、神のなされることは何と美しく、驚くべき、素晴らしいものでありましょうか。

LVJCC 牧師: 鶴田健次

## DREAMS COME TRUE

- ✦ 教会堂の建設
- ✦ 敬老ホームの設立
- ✦ 幼稚園の設立

### お祈りのリクエスト

日本の家族の救いのために

各スモールグループのオikos伝導のために  
入門者クラスのために  
(華子姉、とよ子姉、田中兄)

英語部の働きのために  
小さな子供を持つお母さん方のクラスのために  
(香織姉担当)

癒しの祈り: 真奈美姉のむち打ち、神崎先生の目、倉田一徳さんの脳腫瘍、新井雅之兄の癌、夕紀子姉の緑内障、美津子姉、かよこ姉、さおり姉、Mary 姉、以津子姉、美佐江姉、エナちゃん、Teddy 姉

Desert Wind では1400字程度のお証、また質問を募集しています。ご意見・質問等何でもどうぞ。

lvjccnews@hotmail.com  
編集: 松岡みどり

## — イスラエルの歴史 ④ —

### ・ 1967年 六日間戦争(第三次中東戦争)

エジプト軍がシナイ半島に大軍を展開し、国連軍の撤退を求め、イスラエルに対してチラン海峡の封鎖を行ったのを受け、イスラエル軍はエジプト、シリア、ヨルダンなどのアラブ諸国の空軍を電撃攻撃しました。イスラエル軍は、わずか6日間のうちにシナイ半島、ガザ地区、ヨルダン川西岸、ゴラン高原など広範囲を占領し、またイスラエルはエルサレムの旧市街全域を制圧し、東エルサレムと西エルサレムとの再統一の宣言をしました。この戦争は、記録的な勝利として知られています。

しかし、この戦争の大勝利は、占領地の支配権という複雑な問題を引き起こしました。イスラエルはエルサレムなどの地域を自国領土として併合しましたが、それ以外の土地は管理しているだけという立場を取っています。当初、西岸地区はヨルダン領、ガザ地区はエジプト領でしたが、後に両国がその領有権を放棄したため、現在は「誰のものでもない土地」という、国際法上の奇妙な扱いになっています。また、西岸地区とガザ地区には、右派のユダヤ人たちが政府の支援を受けて入植地を建設するようになりました。これも、中東問題の解決を困難にする要因の一つです。

### ・ 1973年 ヨム・キプール戦争(第四次中東戦争)

エジプトとシリア軍がイスラエル占領地に攻撃をしかけたのをきっかけに、戦争が始まりました。この日がユダヤ教徒にとってヨム・キプール(贖罪日)という一年の中でも最大の祭日であったため、イスラエル側ではヨム・キプール戦争とも呼ばれています。

この戦争によるイスラエル軍、アラブ軍の犠牲は大きく、またアラブ諸国が石油価格を武器に欧米などに圧力をかけてオイルショックを引き起こし、世界経済にも大きな影響を与えました。戦争後、エジプトのサダト大統領とイスラエルのベギン首相との間で、米国のキャンプデービッドで合意が成立します。しかしシナイ半島はエジプトに返還されたものの、パレスチナ問題やエルサレムについての明確な合意はなく、またサダト大統領は裏切り者としてアラブ過激派によって暗殺されてしまいました。

1987年、ガザ地区でイスラエル軍によってパレスチナ人が殺されたことを発端に、パレスチナ人の抵抗運動インティファダが始まりました。

### ・ 1991年 湾岸戦争勃発

イラク軍のクウェート侵攻を機に、アメリカを中心とする西側諸国が多国籍軍を結成し、イラクに対して開戦しました。イスラエルは参戦していないにもかかわらず、イラクよりスカッドミサイルによる攻撃を受けます。

### ・ 1993年 オスロ合意

ノルウェーが仲介者となって、イスラエルとPLOの話合いが持たれ、ワシントンでアラファト議長、ラビン首相により、パレスチナ暫定自治に関する調印式が行われました。その結果、1994年5月よりガザ地区とエリコからイスラエル軍が撤退して暫定自治が開始され、自治政府も組織されはじめました。この功績により PLO のアラファト議長と、イスラエルのラビン首相、ペレス外相がそれぞれノーベル平和賞を受賞しました。

1995年11月、パレスチナとの和平に尽力したラビン首相が、極右ユダヤ教原理主義者の大学生イガル・アミルに暗殺されます。神に与えられた約束の地をパレスチナ人に渡すのは誤りだというのが、アミルの信念でした。

オスロ合意では、暫定自治は少しずつ拡大し、最終的にパレスチナ国家ができるはずでしたが、そのプロセスはあまり進みませんでした。アラファト議長率いる PLO は、様々な組織によるイスラエルへのテロを黙認・容認する立場を取り、イスラエルは自治区の管理強化に対抗したからです。そしてパレスチナの指導者は政治権力を掌握するや否や、ひどい汚職を始めました。パレスチナ復興のために世界から投入された資金の多くは武力闘争に使われ、支配階級の私腹を肥やす結果となったのです。

2000年5月23日、イスラエルはレバノン南部から一方的な電撃撤退を実施しました。これで、20年近い占領状態は終わりましたが、ヒズボラは「実力でイスラエルを追い出した」と自信を深め、様々な挑発行為をするようになりました。



### 編集室 便り

日ごとに秋が深まってきます。秋は食欲の秋、読書の秋、収穫の秋ですね。皆様は主において素晴らしい収穫を得ていることと思います。

先日友人からバジルの鉢植えをいただきました。ベランダに置いて毎日水をやり、楽しんでます。葉をよく見ると、葉裏に向かってカールして何とも愛らしい形。時々葉を摘んで料理に使う。すると家中がバジルのさわやかな香りで満たされます。今はシソに似た白い花をたくさんつけています。

「野の花がどのように育つのか注意して見なさい。働きもせず紡ぎもしない。」とマタイにあります。主はご自分が造られた全てのものを愛しておられるので、命が終るまで何も心配ないようにご配慮して下さいませ。バジルの葉や花を見ながら、主にゆだねる大切さを改めて思います。